

り方など新しい分野に踏み出
そうとしている。ともにさまざま
な面で協力できれば」と
述べた。

石井社長は「道路建設や歩行環境整備に関する技術、地域のスポーツ支援のノウハウを活用してもらう。専門家によるランニング、ウォーキング教室の開催など、楽しみながら健康になれる環境づくりを提案する。大学や企業、地域の医療、福祉機関と連携した科学的根拠に基づいた健康づくりや、子どもたちの夢と健やかな成長を支える取り組みも推進する」と見据えた。

その上で、「市民が生きがいを感じ、安全で安心できる環境の下、健康に心豊かで質の高い暮らしを送るための成果を生み出せるよう、総力を挙げる」と力を込めた。

本庄市と包括協定

日本道路

健康
じんこう

日本道路は、埼玉県本庄市と包括連携協定を結んだ。地域社会の発展と市民サービスの向上、市民の健康的な生活の実現が狙い。同市の地域課題の解決に向け、同社が持つ知見と資源を最大限に活用し、まちづくりや健康づくり、スポーツ振興、青少年の健全育成といつたさまざまな分野で連携を強化する。5日に同市役所で締結式を開き、吉田信解本庄市長と石井敏行社長が協定書に調印した。



石井社長
(中央左)
吉田市長
(同右)ら

貢献する」と意を以ていた
他方、吉田市長は「市では
ウォーカブルなまちづくりを
推進しており、車道を狭め
て歩道を広げるなど、万人が
歩きやすいまちづくりによ
り、徒歩への回帰を加速させ
たい。歩道空間をどのように
つくるかは、まちづくりの大
切な視点だ」と舗装企業との
つながりが生む効果に期待を
寄せた。

ていけるか、業界に情報提供できる」とし、「請負業だけではなく道路舗装のノウハウを提供し、健康やまちづくりに貢献する」と意気込んだ。

「道路舗装企業と自治体との包括連携の協定締結は、初の事例だという。石井社長は『道路舗装企業はまちづくりにおいて、建築だけでなく景観や健康関連施設の整備といった工法やノウハウを持つている。景観を考えながらどのように地方自治体とつながつ